

科目名称：	保育内容総論	
担当者名：	山田 紀子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>保育は、子どもを理解するところから始まる。子ども理解は、子どもの成長、発達に望ましいかわりができるようになる 第一歩である。そして一人ひとりの内面にある可能性を見出し、適切な働きかけをしていくことが大切である。「保育内容総論」では、年齢の発達過程を理解した上で、幼稚園や保育所、こども園での生活や遊びを具体的な活動を通して伝える機会を持ち、現場での感覚をつかむことで一人ひとりの育ちを把握し、柔軟な対応ができる力を養う。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>幼稚園、保育所、認定こども園の役割を理解し、各年齢の発達過程を学び、保育内容とその展開方法を理解する。また、子どもの行動や言葉に理解を深めどのようにかわったらいのかを、自分で考えて実際に保育ができるような指導案の作成などを行うことを目的とする。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)	60		20	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 12年4か月
	《内容2》 幼稚園教諭	《経験年数2》 19年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
乳幼児期の発達理解	乳幼児期の概ねの発達をきちんと理解し、実習に活かすことができる。	乳幼児期の概ねの発達を理解し、実習に活かそうとしている。	乳幼児期の概ねの発達を大体理解している。	乳幼児期の概ねの発達を理解しようとする努力が見られない。
年齢に応じた遊び理解	年齢に応じた子どもの様子をしっかりと把握し、遊びの指導等を考えることができる。	年齢に応じた子どもの様子を把握し、遊びを考えることができる。	年齢に応じた子どもの様子を大体理解し、遊びを考えようとしている。	年齢に応じた子どもの様子を理解し、遊びを考えようとする努力が見られない。
乳幼児の総合的な遊びの理解	総合的な遊びを理解し、遊びから学んでいるということを十分に把握して、指導等を考えることができる。	総合的な遊びを理解し、遊びから学んでいるということを把握し、指導等を考えようとしている。	子どもの遊びは総合的なものであり、遊びから学ぶということを理解している。	総合的な遊びを理解し、子どもは遊びから学ぶということを理解しようとする姿が見られない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 子どもを取り巻く社会環境の変化と保育内容を理解する	シラバスを精読し、子どもを取り巻く環境とはどのようなことかをまとめておく。	30分
第2回 保育所・幼稚園・認定こども園の役割を知る	教科書P20～37を読み、それぞれの役割について、自分の考えをまとめておく。	20分
第3回 保育所・幼稚園・認定こども園の保育内容を理解する	教科書P38～46までを読み、それぞれの保育内容について考えをまとめておく。	30分
第4回 保育内容を展開するプロセスを理解し、それぞれの考えをディスカッションする(グループワーク)	保育所・幼稚園・認定こども園がどのように展開されているかをまとめておく。	30分
第5回 乳児(1歳未満)の保育内容を理解する	教科書P63～70までを読み、1歳未満児の保育の大切を自分なりにまとめておく。	30分
第6回 1・2歳児の保育内容を理解する	教科書P71～84までを読み、1・2歳児の姿について調べておく。	30分
第7回 3・4・5歳児の保育内容を理解する	教科書P85～96までを読み、3・4・5歳児の姿について調べておく。	30分
第8回 異年齢児の保育内容を理解する	教科書P113～124まで読み、異年齢児保育とは何かを予習しまとめておく。	30分
第9回 子育て支援を創造する保育内容を理解する	教科書P125～140まで読み、子育て支援とは何かを予習しまとめておく。	30分
第10回 実習に向けてのDVD視聴しグループワークをする(ICT活用、グループワーク)	自分が指導してみたいことを考え、実習で大切なことをまとめておく。	20分
第11回 実習に向けての指導案作成し、具体化できるようグループでディスカッションする	これまでのそれぞれの発達を考えたいうえで指導案を書いておく。	40分
第12回 実習の振り返りフィールドワークする	実習を振り返り、自分の課題や反省をまとめておく。	30分
第13回 就学前教育と初等教育を接続を接続する保育内容/地域における開かれた保育所・幼稚園を創造する保育内容	幼児期から小学校への滑らかな接続と地域とのかかわりを自分なりにまとめておく。	30分
第14回 我が国における保育内容の変遷/諸外国の保育所・幼稚園の保育内容を理解する	日本の保育の変遷と外国の保育内容について予習しまとめておく。	30分
第15回 これからの保育内容の考えまとめ、学びの振り返りをプレゼンテーションする	これからの保育内容の課題について今までの学びを振り返り考えておく。	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
レポート提出内容20% 授業への積極的関与20%

課題に対してのフィードバック

課題レポートを提出後、評価、確認し返却する。

教科書・参考書

教科書：『保育内容総論』 豊田和子編 みらい 毎回使用する。
必要に応じて配付プリントも活用する。